

6. 「景観」を考えたまちづくり



豊かな自然や昔ながらのまちなみなど、
すでにある景観を守っていくことも大切だけど、
新たに景観をつくり出していくことも大切なんだよ。



大分県内で行われた、景観を考えたまちづくりの事例を見てみよう。

大分市 しょうわどおり 昭和通り交差点



夜の景観も
きれいだなあ。



あまり使われていなかった広場を、
人が集まる広場に生まれ変わらせたんだって。
交差点の4つのすみに広場があるのは、
全国的にもめずらしいんだよ！

●景観は、保全だけでなく新たにつくっていくという側面もあります。

つくみし つくみがわ
津久見市 津久見川



つくみがわ
ここは津久見川！
できる限り自然な川に
なるように
石積みをしているんだよ！
ちいき
地域の人達と一緒に
デザインを考えたそうだよ！



さいぎし しろやまさくら
佐伯市 さいき城山桜ホール



スーパーのあと地を利用して、
みんなが集まれるホールや広場を作ったよ！
市民会議をひらいて、たくさん話し合いを
したそうだよ！



良好な景観は、いろいろ
な人達が協力してつくって
いるんだね。

